

# ハスの実をよめ

社会福祉法人  
ハスの実の家  
**10月号**  
2019年・No.464

〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2 TEL (0776)78-6743 FAX (0776)78-6744 Eメール honbu@hasunominoie.com

## 笑顔がいいね! \(\cdot\vee\cdot\)イネ!!



### 主な記事

- 2 ★すくらむ
- 3 ★なかまのページ
- 4 ~ 5 ★特集記事：～平和上映会を通して繋ぐ気持ち、映像で届く思い～  
「3.11」「やまゆり園事件」を通して～復興、人間の尊厳をどう問い直すか～
- 6 ★家族のページ

- 7 ★職員のページ 大橋 達哉 木村 知子
- 8 ★交差点
- 9 ★今月のにやりホッと ハスの実発信
- 10 ★ムーブ
- 11 ★物品深謝 ★ご寄付深謝  
★新職員紹介 ★退職のお知らせ
- 12 ★クイズ ★あとがき



# あくらあ



約43年前、名古屋から福井に越してきた時、福井大学の櫻井先生（現ハスの実の家理事長）を訪ねました。それは私が名古屋で勤めていた設計事務所に先生の先輩が居られ「福井に帰るのなら福大の櫻井を訪ねろ」と言われていましたので、帰ると一番にお訪ねしました。それ以来、懇意にさせて頂き、私の仕事の相談であったり、先生の研究資料づくりのお手伝いをさせて頂いたり、また住宅、保育園等々の仕事も一緒にやらせて頂いてきました。

何年かして先生から、「ハスの実の家から移転の相談を受けているので、敷地選定に付き合うように」言われ、いくつかの候補地にご一緒させて頂きました。

経過はよく覚えていないのですが、荻原に移転先が決まり、施設建物の設計コンペに参加させて頂きました。今思うにどんな案を出させて頂いたのか思い出せませんが、残念ながら採用はされませんでした。

その後、ハスの実の家とは、イベントに参加したり、施設建物管理の相談をお受けしたりしてきました。平成9年ころ金津のNTTの建物を利用し、パン工房に改装する設計をさせて頂き、その後「わくわくセンター」「ステップハウス」「パン工房」「入所施設の増築・改修」「グループホームの改修」等、ハスの実の建物に関わらせて頂きました。

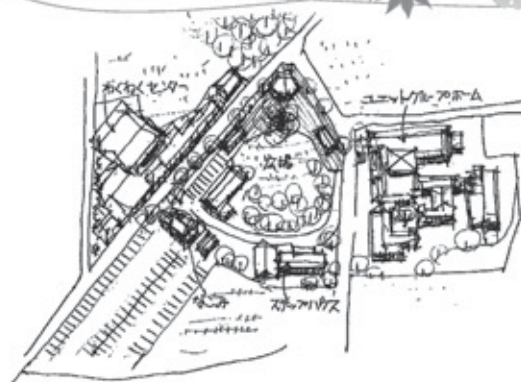
私が建物を創る時、大切にしていることは、その建物を使う人たちと一緒に考え、一緒に創らせて頂くことです。どんな建物の設計依頼も、そうしたいとの思いで取り

組んでいます。

ハスの実の家は建物建設の構想が持ち上がると、職員、ご家族も参加して夜の勉強会が始まります。「なぜその施設が必要なのか」「どんな建物であるべきか」みんなが意見を出し合ってまとめていきます。パン工房に最初に関わらせて頂いた時も、入所している仲間や職員、家族、後援会の皆さん

## ハスの実の家を想う

(株) 松宮設計事務所 松宮 実



が集まってワークショップ形式で夢や希望を出し合い、平面計画図や模型まで作って頂きました。それを基にまとめさせて頂き、みんなで形を創っていったことを思い出します。

建物をイメージし、創ることはだれでもできてしまいます。法的な問題・技術上の問題等は私たち建

築のプロが処理しなければならぬのですが、空間をイメージすることはだれにでもでき、それを図面化さえできれば建物はできてしまいます。

多少使いづらい、不慣れた空間でも人は気づかずうまく使いこなしてしまいます。と言うよりは、建物に使われているのが・・・。

すこしの工夫や小さな仕掛けでより便利に、より心地よい空間が生まれます。そのことが全ての人、特に身体の不自由な人、障害のある人には、より大切なことだと思います。また、空間を創る材料も「住む人に安らぎをくれるもの」であるべきです。そんなことを大切に考えながら、設計に取り組んでいます。

今まで関わらせて頂いたハスの実の家の建物造りで、色々不手際があるかと思いますが、皆さまと一緒に創ってきたことに間違いはないし、それは良かったと思っています。職員の皆様も自分たちが参加して創ったことで愛着を持ち利用して頂いていると確信しています。

ハスの実の家が生まれて来年で55年目を迎えるそうです。

今職員の皆さんは、これから5年後、10年後、30年後に向けて、施設はどうあるべきかの構想づくりをされています。そこに今、私も少し関わらせて頂いています。

私の小さな力が障害のある仲間たちや職員の皆さんの明るい、楽しい、地域から愛される、これからの施設創りに少しでも力になることを願っています。



なつまつり準備



# 祭 なつまつり

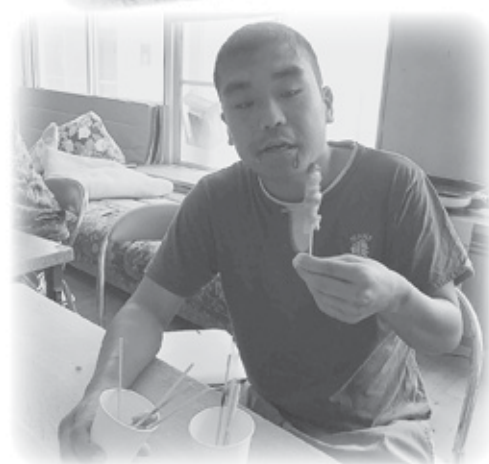
「ユニットホームでは数年ぶりに夏祭りを開催することが出来ました。

仲間の会で担当を決め、買物に行ったり、材料を切ったり自分達で企画・準備を行い、手づくりの焼き鳥・焼きそばに加え、当日ボランティアで来ていただいた「メープルハニー」さんのパンケーキをみんな美味しく頂きました。

カラオケ大会や夜には花火をしてみんな盛り上がり楽しく過ごすことが出来ました。」



おいしいパンケーキありがとう、メープルハニーさん



カラオケ大会



# 「3.11」「やまゆり園事件」を通して～復興、人間の尊厳をどう問い直すか～



～被災地状況の展示コーナー～

～平和上映会を通して繋ぐ気持ち、映像で届く思い～

ハスの実の家では、毎年8月に平和企画として、平和と関連した企画を行ってきました。そこで2019年度は、8月25日に「星に語りて」Starry Sky」の上映会を行いました。今回の目的として、なかまたちの暮らし「地域」と「大震災」「障害者」「共生社会」について地域の方たちと一緒に考えたいと思い企画を行いました。

地域の方たち、福祉関係者・職員家族に東日本大震災時の障害のある人たちがどのような状況に陥っていたのかを知らせることで、在りたい共生社会を考える機会にしたいと考え、また映画を通して地域の方たちの障害理解に繋がるような企画にしたいと準備を行いました。

当日は、午前と午後の2回の上映で128人の方が参加をして頂きました。10代～70代という幅広い年代の方に参加をして頂き、特に50代～70代の方が多く参加されました。コメントでは、「大震災・共生社会について興味、関心を抱いた」「みんな（障害のある方も障害のない方も、高齢の方も）が笑顔で支え合える社会を願っている」といった意見を多く頂きました。この上映会の目的でもありました「大震災」「障害者」「共生社会」について参加者が少しでも考える機会になって頂けたのではないかと思います。ありがとうございました。

畑 亮輔

## 「3.11」「やまゆり園事件」を通して

～復興、人間の尊厳をどう問い直すか～

### 1. ゴールの見えない復興～東日本大震災～

被災地の復興は転機にある。政府が総仕上げと位置づける「復興・創生期間」は残り2年。福島などを含め全体の避難者は当初の47万人から減ったものの、なお5万人程います。そして仮設住宅で暮らす多くの人がいます。

「星に語りて」を企画した藤井克徳さんの言葉ですが、「差別の反対は無関心」なんです。東北大震災から8年。今回、私は福島を訪問しました。

震災、津波で被害をうけた地域の復興は進んでいましたが、原発の事故の影響では想像を超えた事態が起きていました。



# ～平和上映会を通して繋ぐ気持ち、映像で届く思い～



～避難指示区域のイメージ～  
(平成31年4月10日時点)

ひとりのひとりが様々な事情のなかでの決めなきやならない苦悩、決めきれない苦悩、分断、対立の構図の中の苦悩。  
先のが分からない。何が正しいか分からないなかでの苦悩  
遠慮、気兼ね、我慢、諦め、迷惑をかけると思う苦悩  
様々な苦悩に向き合ひながら生きています。

が山積みです。  
未だ帰宅困難区域の地域（浪江町、双葉町、大熊町、葛尾村）  
これまでと比べて格段に放射線量が高い地域  
未だ点在するホットスポット  
営農再開を阻む除染廃棄物の山  
打ち切られていく東京電力からの賠償  
原発作業員の過労死  
帰る条件が整っていないと訴える住民も少なくない。一方自治体は避難指示解除を急いでおり、両者の溝が深まっている。  
その他にも挙げればきりがなくいろいろな問題が山積みです。

## 2. 津久井やまゆり園事件

やまゆり園のあの痛ましい事件をうけて  
「役に立たない障害者は生きている価値はない」と容疑者はいました。  
みなさんはどう思いますか？

○価値は一つではない多様である。  
何を価値ある物として認めるかは、ひとりひとり違うのではないか。

○人はみな、周りに迷惑をかけながら、支えられながら生きている。  
できないことは、助けてもらえばいいのではないか。

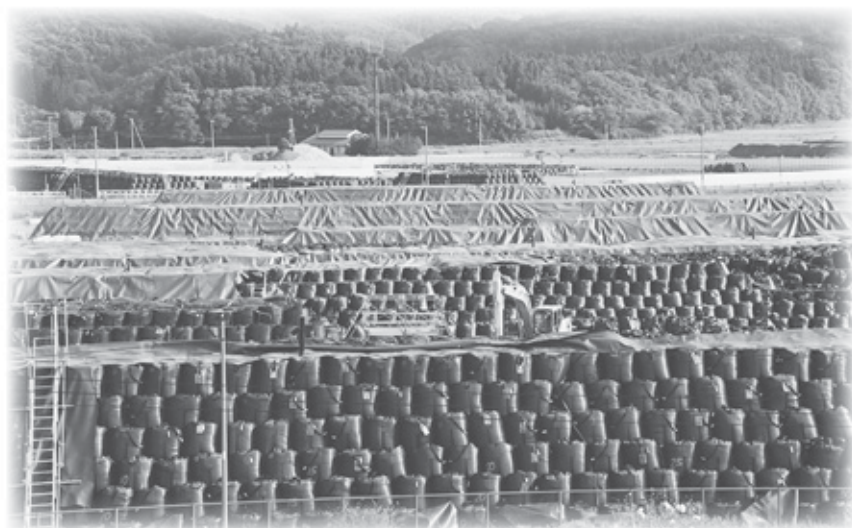
○本当に大切なのは「いのち」の存在そのもの。  
あなたが、そこにいることを大切に思ってくれる人がいたり、そばにいてほしいと思うような人がいたりすることで、社会は成り立っているのではないか。

## まとめ

今回の訪問を通して、各地でおこる自然災害、社会的に弱い立場におかれ人権をおびやかす様々な問題に関して無関心であったと痛感しました。被災地に足を運びいろんな方の思い、体験を知ることができ、一人一人が被災地を決して忘れてはならない、との強い思いを感じました。

被災した人、一区切りだと実感するタイミングは人それぞれだと思います。すでにどこかで区切りが付いた人でも、何かをきっかけにまた思い出すこともあるかもしれませんし、まだ区切りが付かない人がいるのも当然です。そういった人たちに寄り添った支援を今後も続けていきたいです。

阿部 晃三



～大量に積まれた除染土の山～

## 家族のページ ～仲間への想い～



### もうすぐ20歳

木村和美さん  
(木村友哉さん母)

#### お母さんより

友哉は、予定日よりちょっと早く生まれ2164gの低体重児でしたが、現在は75kg（もしかするともっとあるかも・・・）体重も増えて親よりもがっちりとした体格になりました。友哉は1歳6ヶ月検診で要観察、3歳児検診でも発達の遅れが認められました。当初、原因は分からなかったものの、4歳の時に突然歩けなくなったことで初めて『てんかん』であることが分かりました。以来、服薬治療を続けています。通院を続けていく中で自閉症であることも分かりました。特別支援学校では、幸いにも良い友達に恵まれ親同士の交流もあり本人はとても充実した日々を送ったようですが、周りは自閉症特有の色々なこだわりや重度の知的障害に振り回され、ただただ大変でその日その日を何とか過ごしていた感じがします。友哉は、こだわりが強くお気に入りの物が手放せなかったり、気に入った人を追いかけたり、気に入らないうと直ぐに物を壊したり、自傷、他害といったかんしゃくやパニックを起こしたりもします。ですが基本的にはおとなしい性格で、人との交流が大好きで他人に



対する思いやりもあり困っている人がいると自ら声をかけに行きます。また、出来る事は少ないのですが家族の為に一生懸命手伝いをしようとしてくれます。本人も家族も「ハスの実の家」での行事、活動、家族同士のつながりなど沢山の方々に助けていただきながら生活しています。

本当にありがとうございます。

木村友哉19歳。もうすぐ20歳です。友哉は今日もとっても元気です。

## 職員のページ

【所属】生活介護事業所  
リサイクル班支援員(チーフ代行)  
大橋 達哉



ハスの実の仲間の多くは言葉で自分の気持ちを詳しく伝えることが苦手です。その代わりに、ジェスチャーやいろんな行動を用いて気持ちを表現してきます。職員もすぐにその気持ちをくみ取ることは難しいですが、職員間で意見交換しながら少しずつ答えを導き出していきます。気持ちを理解でき、仲間が嬉しそうなお姿を見せてくれることがこの仕事の楽しさの1つです。気持ちを受け止めてもらえる、信頼してもらえる職員を目指していきたいと思っています。



【所属】就労継続支援 B 型事業所  
食品加工班チーフ

木村 知子



グループホームはさだの世話人のアルバイトをしたことがきっかけで仲間を支える職員になりたいと思い、ハスの実の家に入職しました。現在は食品加工班として仲間と一緒に、お菓子の製造・販売をしています。仲間は一人一人に仕事の役割があり、責任と誇りを持って毎日取り組んでいます。また新しい仕事にも日々挑戦しています。クリスマスや海風フェスタなどのイベント前になると製造に追われて辛いと思うことがありますが、「がんばろう！」と声かけてくれる仲間、忙しい中でも焦らず黙々と仕事をしている仲間、励まされています。また、販売時に「これ私が作りました！」と自信をもってお客さんに伝えている姿をみると、とても嬉しいです。仲間のがんばり、喜びを共有できるのがこの仕事の魅力だと思います。

# 交差点 後援会

**大至急**

## バザー用物品急募

11 月 10 日 (日) に開催される「海風フェスタ」において、ミニバザーを行う予定です。しかしながら、肝心の**物品が不足しています**。皆様の家に

- ・使わずじまいになっている家庭用品 (洗剤、石鹸、食器、タオル、鍋・調理道具等)
- ・ほとんど着ていない衣類、ベルトやバック
- ・写真立て等の小物

※電化製品やパソコン等のリサイクル料金の対象となるものはお引き取りできません。

**よろしく  
お願いします**



はありませんか？是非とも物品の提供をお願いいたします。ハスの実の家へ直接お持ちいただくか、お電話でお問い合わせください。

**0776-78-6743** (ハスの実の家)

## ハスの実の家 運動会



10 月 5 日 (土)、ハスの実の家の運動会が行われました。塩田会長や会員が、なかまとともに恒例のパン喰い競争や工夫を凝らした競技に参加し、存分に体を動かしました。



## 継続会員・新入会員お名前

**8・9 月度**

\*印は新入会員です。順不同、敬称略。

あわら市 和田富美代・中森隆弘・ヤギカンパン(株)・(株)ダイデン  
 坂井市 奥田光雄・大久保省二・畑本芳美・竹内泰治・中島弘子・正田節子・  
 齊藤直美・黒川清和・林田一義・前田圭佑・\*前田吉秀  
 福井市 山野凱子・吉田朋子・佐藤美和子・牧野朋子・渡辺淳子・廣部すみえ・  
 山本伊知郎・谷口正行・\*飛田幸平・\*中尾亨・玉崎美幸・木本幸子・  
 石塚泉  
 鯖江市 孝久忠央・田中美智子  
 大野市 南部由起子・石田俊夫  
 越前市 山本恵子

永平寺町 \*吉江成人  
 石川県 宮本典潔・中田松義  
 愛知県 水野純子  
 滋賀県 嶋村久美子・中川治男  
 兵庫県 坂下茂・尾崎正治  
 東京都 河合隆平  
 大阪府 小林保太  
 静岡県 \*原田雅司



# 今月のにやりホツと

## まあ、ぼちぼちやるんで

農耕班のなかまの A さんは自分の考えをしっかり持った方です。自分自身の経験や学んできたことから、物事のルールや仕事のやり方に対し、「こうあるべきだ」という価値観、倫理観をもたれています。そのため、何か気になることや他のなかまの行動が自身の考え方、やり方とあまりにもかけ離れていると何かひとこと言わずにはおれないようです。それに加え、少し短気の所もあり言い方もきついため、注意された他のなかまは「そんな言い方をしなくても…」とかならずや思っているはずです。

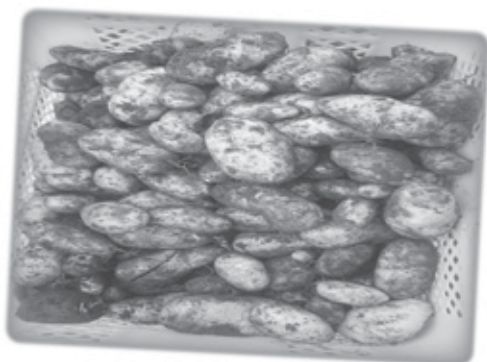
そんな他のなかまを注意ばかりしている A さんですが、なかまを褒めることがありました。それはじゃがいも掘りを終え、作業場に戻ろうとした時です。職員の所に来られ、「B さんがいたから助かった、B さんがいる日はいつも早いんや。」と言われました。あの A さんが他のなかまを褒めるとはめずらしい。

ある日、A さんと面談した際に、A さんが自分は短気で、何でも気になり、言わずにはおれない性格をしていることも自分でちゃんと分かっているとされました。その時に、それならばきっと他のなかまの良い面も気づけるのではと感じたので、じゃがいも掘りの時の話をきり出し、注意ばかりではなく他のなかまの良い面を気づき褒めることができた A さんはすごいということを伝えました。すると「ま

あ、ぼちぼちやるんで。」と A さんが毎日口癖のように言われるセリフが返ってきました。その時の照れた姿にニヤツとし、本人なりになかまを気にかけてくれていたのだなあと感じ、ホツとしました。その姿、表情から A さんの気持ちが伝わりとても嬉しかったなあ。

しかし、次の日、いつものように怒りながら「そんなことしたらあかん!」「ちゃんとして!」「あきませんよ!」と他のなかまを注意している A さんの姿が。僕の昨日の気持ちは…… (^-^)

(農耕班職員 野尻 翔太)



農耕班で収穫したじゃがいも

ハスの実☆発信!! ハスの実わくわくセンターよりお知らせ!

## ハスの実の家 第7回 海風フェスタ

～つなげよっさ みんなのいのち わたしの未来～

2019 年 11 月 10 日(日) 10:00～15:00 (小雨決行)

ハスの実わくわくセンター (あわら市二面 87-19)

★おたのしみイベントが盛りだくさん! ぜひご来場ください!!

ボランティアさん  
大募集!

前日 11 月 9 日(土) 9:00～16:00 (会場準備等)

当日 11 月 10 日(日) 9:00～16:00 (模擬店・駐車場等のお手伝い)

お問い合わせ 第7回海風フェスタ実行委員会  
TEL 0776-78-6743

# 第 42 次国会請願署名の報告



全国から集まった署名数…101 万 5,495 筆 募金…3,081 万 4,777 円。  
ご協力ありがとうございます。

## 第 42 次国会請願署名の審査結果

きょうされんの請願の審査結果は残念ながら不採択となりました。しかしながら、昨年度はわずか 3 分程の審議だったそうですが、今年は衆議院では、30 分。参議院では一時間程度の審議時間が設けられたそうです。

きょうされん署名は今まで、毎年 100 万筆越えの署名を集め、声を届けてきましたが、今年度も 100 万筆以上の署名が集まり、改めてきょうされんの運動の力は衰えていないと感じました。

今年度は福井支部は目標を達成できませんでしたが、来年はこの悔しさを盾に頑張っ  
て行きましょう!!

ハスの実の家	9,800 筆	34 万 6,595 円
きょうされん福井支部	1 万 6,443 筆	46 万 6,865 円

きょうされん福井支部 要求活動副責任者 阿部晃三

## 「きょうされん冬季物品販売」のお知らせ

冬季物品販売に先駆けて、11/10（日）に開催される海風フェスタにて、おすすめ商品の試食販売を行います。毎年ご好評いただいているきょうされんカレンダーも販売致します。仲間たちのボーナスづくりに！！当日は是非、販売ブースにお立ち寄りください。

また、当日会場に来られず、カタログをご覧になりたいという方には郵送させていただきますので、お気軽にご連絡ください。

問い合わせ先：社会福祉法人 ハスの実の家 表現活動部会  
TEL：0776-78-6743 FAX：0776-78-6744  
(担当：西井・橘高・圓道)



2020 年度 カレンダー



## 物品深謝

8・9月

順不同お許しください

松川俊恵様、佐藤様、伊藤新一様、谷口正行様、  
大草基江様



## ご寄付深謝

8・9月

順不同お許しください

ハスの実の家  
匿名様、廣部すみえ様、長谷田スマ様、  
やまぼうし小寺修司様 93,210 円

ハスの実の会（後援会）  
鳴孝久忠様、石田俊夫様、坂下茂様、原田雅司様、  
黒川清和様 9,000 円

## 新職員紹介



所属 運転手  
中山 龍夫

私みたいな年寄者  
を採用していただき  
ありがとうございます。  
若い人達に負け  
ずに頑張っていきたい  
と思います。  
今後ともよろしく  
お願い致します。



所属 ヘルパーステーションともに  
勝木 雅子

体力に自信がなく、週 2 日  
だけの出勤にさせていただ  
いています。ハスの実の皆さんの  
優しさに癒され、温かい気持  
ちは周りに伝わっていくん  
だなと改めて気づかされまし  
た。いい齡の私ですが、どう  
ぞ宜しくお願い致します。

## 退職のお知らせ



- 杉村裕嗣さん 支援員
- 松井久和さん 支援員
- 橋本真吾さん ヘルパー
- 向野一夏さん 支援アルバイト
- 田幡順子さん 世話人

## パン工房創業祭(ハスの実マルシェ)の御礼



このたびのハスの実マルシェにつきまして、皆様お忙しい中、  
多大なるご協力をいただき、まことにありがとうございました。

天候にも恵まれ、たくさんのお客様に足を運んで頂き、おかげ  
さまで大成功を取めることができました。

これもひとえに皆様のお力添えの結果だと感謝の気持ちでいっ  
ぱいです。

本当にありがとうございました。



ハスの実だより  
あとがき



今年の平和上映会の映画「星に語りて」では東日本大震災で亡くなった方々が森のフクロウになり満天の星になったという話がモチーフになっています。震災後ショックで絵が描けなくなった仲間がまた絵を描けるようになった。そこまでの長い道のりが、震災後に姿の消えた障害者の調査に立ちあがった人々の困難と共に描かれていました。感動のラスト必見!見落とした方は12月15日に福井県自治会館(主催:げんきの家)でも上映されますので是非。県内、まだまだ上映会は続きます。その都度、情報を誌面にしてお知らせします。

坪田 敏郎

社会福祉法人  
ハスの実の家

- 法人本部 理事長 櫻井 康宏  
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2  
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744  
Eメール: honbu@hasunominoie.com
- ハスの実の会(後援会)事務局(法人本部内)  
Eメール: kouenkai@hasunominoie.com
- 共同生活援助事業
  - \*「のぞみ」「あおぞら」「あかつき」「ステップハウス」  
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2  
Eメール: allhasunomi@hasunominoie.com
  - \*「ハッピー」  
〒910-4134 福井県あわら市上番 40-12-4  
電話・FAX(0776)77-7282
  - \*「すまいる」  
〒919-0621 福井県あわら市市姫3丁目14-2  
電話・FAX(0776)73-2444
  - \*「空と海」  
〒913-0057 福井県坂井市三国町米ヶ脇1丁目4-3  
電話・FAX(0776)81-4746
  - \*「友歌里」  
〒919-0628 福井県あわら市大溝3丁目15-17 102  
電話・FAX(0776)73-3129
  - \*「はさだ」  
〒919-0621 福井県あわら市市姫3丁目14-1  
電話(0776)73-5203
- 生活介護事業
  - \*「のびのび広場」「はつらつ広場」
- 就労継続支援B型事業
  - \*「わくわくワーク」  
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-19  
電話(0776)78-7750 FAX(0776)78-7751  
Eメール: wakuwaku@hasunominoie.com
  - \*「ハスの実パン工房」  
〒919-0621 福井県あわら市市姫1丁目608-2  
電話(0776)73-7300 FAX(0776)73-7301  
Eメール: pankoubou@hasunominoie.com
- 相談支援事業所「ハスの実」  
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2  
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744  
携帯 090-8965-2347  
Eメール: hasusoudan@hasunominoie.com
- 居宅介護事業
  - \*「ハスの実ヘルパーステーション ともに」  
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2  
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744

## ハスの実 読者クイズ

当月号でも掲載されておりますが、11月には毎年恒例の第7回海風フェスタが行われます。

今年度のフェスタでは「つなげよっさ みんなのいのち わたしの未来」をテーマに、創立55周年に向けての展望や障害福祉だけでなく、地域(まち)の中で社会保障問題が浮き彫りになっている時期だからこそ、今と未来の社会を改めて見直す機会としていきたいと考えています。また近年には台風・地震・津波・豪雪など予想を上回る災害が各地で起きています。災害時に障害のある方の置かれる現状や、福祉避難場所になっているハスの実の家がどのような役割を果たすのか、みなさんと一緒に考えたいと思います。

ぜひ皆さまお誘いあわせのうえ、ご来場ください。

### さて ハスの実 読者クイズ

第2回はそのフェスタからの出題です。

「第7回〇〇フェスタ」は

〇月〇日(日) 10:00~15:00

場所 ハスの実わくわくセンター

(あわら市二面 87-19)

〇〇に文字や数字を入れてください。

#### 応募方法

はがきか Mail(honbu@hasunominoie.com)にクイズの答えと住所・氏名・連絡先を記入の上ご応募ください。締切りは11/30(水)(当日消印有効)。

正解者の中から抽選により3名様にハスの実の家オリジナル商品をプレゼント。ふるってご応募ください。

第1回読者クイズの答えは「星・に・語・り・て・8・25」でした。多数ご応募いただきありがとうございました、正解者の中から抽選でハスの実クッキーセットを送らせていただきました。

★こちらを読み取って  
ハスの実FBに  
アクセスしてね!!

